



学校だより
三年先の稽古
発行：校長 益子 朗

令和2年度修了式

本日、令和2年度の修了式が行われ、2年生35名、1年生37名がそれぞれの学年の課程を修了し、4月から進級することになります。今年度はとにかくコロナ危機への対応に明け暮れました。年度末から年度初めは休校が繰り返され、入学式すら行われず、入学式も新しい式のみで在校生が入らないという寂しいものでした。様々な対応策がとられるようになった現在は、制約はありますが、行事も実施が可能になりました。まだまだ

令和3年度 2年生の課程を修了した者

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 2年1組 | 2年2組 |
| 小林 生吾 侑健 将祐 颯頼 生太 蒼蒼 夏修 優美 菜青 優 | 永輝 匠太 神夢 斗真 依音 葵り ず 央那 瑛 ン 優 |
| 菅 本松 谷田 田成 藤戸 野田 木 陽 沼吉 | 峻大 優龍 大悠 登碧 凛 かし 菜 唯 紗 里 美 |
| 小菅 杉常 円本 山吉 伊大 北塩 鈴星 柳吉 | 竹沼 磯田 田山 上田 井藤 田文 木根 川 美 |
| | 大小 小塩 添平 村戸 石佐 塩十 鈴関 森吉 吉 |
| 以上 男子17名 | 女子18名 計35名 |

校是「三年先の稽古」

○みんなが行きたくなる学校
○「現場力」本番力を磨く学校
○地域に支えられ地域を支える学校

だ油断はできませんが、少しづつ前進していることは間違いありません。春休みは3月24日(水)～4月5日(月)の13日間です。短い期間ですが、ここで油断すると新学年のスタートでつまづくことになりま。学習も部活動も、1学年上がることをつけり自覚して頑張りましょう。また、例えば虫歯の治療など、今のうちに済ませておいた方がよいことは、1学期に食い込まないよう、必ず済ませておきましょう。なお、年度末・年度初めに皆さんに登校して貰う日があります。休業中ですので登校が無理な場合は、欠席にはなりません。しかし必ず学校にはご連絡ください。

令和3年度 1年生の課程を修了した者

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1年1組 | 1年2組 |
| 秋上 元田 大匠 俊也 都哉 哉也 太樹 玖斗 空澄 那歩 羅穂 愛人 | 人慎 生斗 人成 一多 駿斗 真雅 央音 麻奈 優空 |
| 菊地 野西 松須 藤谷 成石 谷藤 田澤 田井 部 | 伊藤 森田 川藤 藤田 根根 田辺 戸橋 井木 橋 |
| 北香 小齊 佐藤 深吉 白岩 遠塩 菅添 室渡 嶋 | 伊金 熊黒 佐佐 島関 関出 渡池 大柿 鈴高 |
| 以上 男子24名 | 女子13名 計37名 |

年度末から年度初めの主な予定

- 3月29日(月) 離任式 (8:10～10:55の予定)
 - 4月2日(金) 新入生オリエンテーション (新1年生のみ)
 - 4月5日(月) 入学式準備、新学級発表 (9:00～11:00の予定)
 - 4月6日(火) 着任式・始業式・入学式 (この日から通常通り登校)
 - 4月7日(水)～9日(金) 学年授業
 - 4月8日(木) 身体測定 (3・4校時)
 - 4月9日(金) 新入生歓迎会 (5・6校時)
- ※ご不明な点は学校までお訊ねください。

「克冬制夏」

言葉は成長する。校長のつぶやき

今でこそ全国最大の農業生産を誇る北海道ですが、江戸時代までは農業は行われず、アイヌの人々が狩りや漁をしていました。練(三つと)は「鱒」とも書きますが、これは「魚に非(あ)ず」という意味です。アイヌの人々は、当時の松前藩に鱒などの海産物を提供し、米などの農産物と交換していました。つまり、高値で売れる鱒は、魚ではなくお金であるという意味です。

その北海道。明治政府は有名なクラーク博士をはじめ、欧米から指導者を招いて西洋式の農業を取り入れ、全国から入植者を募って開拓を進めました。「克冬制夏」・これは「冬の寒さ、夏の暑さに負けずに開拓を進めよう」という、当時の開拓民に向けた合言葉です。ところが、今ではこの言葉が全く違った意味で使われているのは、活動の指導者たちです。「冬の寒さに負けずに練習して、夏の大会を制覇しよう」という意味で。大会まで遠く、また寒い冬場はどうしても練習に身が入りません。そこで、冬の練習こそ大切だ、冬頑張れば夏勝てるんだという叱咤激励に使われるのです。

元々の意味とは違っていますが、これはこれでよい解釈ではないでしょうか。言葉も成長するのです。

